



発行者 等々力地区身近なまちづくり推進協議会 広報部  
事務局 等々力まちづくりセンター TEL. 03-3702-2143 FAX. 03-3702-0942

# 等々力小学校

## 全国学校・園庭ビオトープコンクール2017で

# 国土交通大臣賞に輝く!

等々力小学校で取り組んでいるビオトープが、コンクールで国土交通大臣賞を受賞しました。そこで、この活動を担当されている渡部理恵子先生と高橋哲先生にお話を伺いました。

受賞について、コメントをいただきますか?

2年に1回行われるこのコンクールには、ビオトープを造成した平成20年から参加しています。今まで銀賞、奨励賞、日本生態系協会賞を受賞しています。今回は大きな「5賞」と呼ばれる賞の一つ「国土交通大臣賞」を受賞し、大変うれしく思っています。「5賞」というのは、文部科学大臣賞や環境大臣賞など、全国で5校だけが選ばれるもので、等々力小学校の活動を全国に知っていただけるよい機会となりました。また、今回は規模が小さくても取り



組みの内容や子どもたちの自主性が評価された結果だと思っています。これまでの経緯を教えてくださいませんか?

等々力小学校では「農と自然と人のつながり」をテーマに、学年を超えた継続的な環境教育に力を入れています。ビオトープの授業が始まったのは平成20年で、校庭角のコンクリート製の水槽を再生することから始めました。ビオトープギルド(専門のアドバイザー)の指導のもと、当時の4年生が2トンの土をバケツリレーで運び入れ、多摩川に自生する水草を移植し、ミナミメダカを放流しました。平成22年には宮城県産の音農産開発有限会社(自然環境共生の農業に取り組んでいる会社)の協力を得て、多様な生きものを呼ぶためのビオトープ水田を造成し、子どもたちは授業の一環として手入れや管理にかかわっています。



## 等々力のまちづくり⑧ 等々力の歴史を語り継ぐ会

本紙では、等々力地区のまちづくり活動をシリーズで紹介してきました。今号では、「等々力の歴史を語り継ぐ会」の活動を掲載します。本会には、等々力地区にお住まいの住民の方に、古き良き歴史や伝統行事、自然を後世に残していくため、そして何よりこれまで以上に等々力に愛着を持って住み続けていただき、地域の絆を強めることを目的として、平成22年6月に設立されました。

毎年恒例の写真展示会の様子



地元町会(協和会・等々力三和会)の協力を得て、町会から推薦された有志12名で活動しています。

主な活動としては、古くから住んでいる方々から昔の生活風景や伝統行事等の写真を提供していただき、また、当時の生活の様子を伺い、それらを記録として残すことです。

これまでに小中学生を対象に作成した『わたしたちの故郷とどろき』、身近にある史跡などの散策に便利な『とどろきお散歩まっぶ』、持ち運びにも便利な折り畳み式で四季折々の伝統行事やお祭りを紹介している『とどろきの歳時記』を発行してきました。

最近の活動としては、平成28年3月から毎年展示会を開催しています。これまで収集してきた昔の写真や資料などを、テーマごとにわかりやすく展示してきました。3回目となる本年3月の

## ビオトープを通して子どもたちにどのような変化がありましたか?

生きものが自生・自活する手助けをすることを体験することで、生きものの気持ちになって考える機会ができました。いろいろな生きものになったつもりで行った議論の末に、トンボの産卵場所(水田)をつくることになりました。ビオトープを通して自主性が育まれていることが大変ありがたく感じています。

## 今後の抱負についてお聞かせください

初めは小さな池から始まった等々力小学校のビオトープですが、さまざまな方との出会いと子どもたちの思いから活動の規模も広がってきました。田んぼ、第2池、屋上草地や水田、畑、そしてまちに置かれた木のプランターは、絶滅危惧種を守り増やすために、子どもたちのアイデアから実現したものです。子どもたちが自主的に立ち上げた「自然環境クラブ」もできました。「自分たちには、何ができるのか」「生きものと共に生きていく」そんな思いを大切に、進化しつづける等々力小学校ビオトープでありたいと思います。



これからもこの受賞を機にさらなる発展を期待するとともに、環境教育・自然体験を通して住みよい地域づくりに貢献してもらいたいと思います。

**解説** ビオトープとは「ある特定された地域や場所に暮らす生物たち全てにとって生きていくために必要な環境条件がそろった場所」という意味の言葉です。

展示会では、「古き良き等々力農業から見た等々力」と題して農業にまつわる写真や資料を中心に展示し、来場者は2日間で11名を数えました。貴重な資料である写真の収集が難しくなり、また、いわゆるまちの長老が減ってきているという課題を抱えています。等々力の歴史を次世代に残していくために、会員の方々のさらなる活躍を期待しています。

## 玉川消防団第三分団格納庫新築

玉川消防団第三分団の格納庫が竣工しました。火災や震災などのときには、まちを守ってくれる消防団の拠点として頼もしい存在です。



地域イメージキャラクター「あんすこ君」

「あんすこ君」は、昭和43年に世田谷区を象徴する鳥として選ばれた「オナガ」をモチーフに、「あんすこ」や「センター」(以下「あんすこ」という。)が設置されることになった平成18年4月、あんすこのマスコットキャラクターとして誕生しました。それ以来、あんすこ関係のパンフレットや広報物に使用されています。

区内のあんすこでは平成28年度より、高齢者からのご相談に加え、障害のある方や子育て中の方等からのご相談も受け付けるようになりました。

また、等々力あんすこでは目下、ゆっくりお茶を楽しみながら、もの忘れ等についての相談もしていただける「等々力きままカフェ」や高齢男性向けの体操教室「メンズシニア・エクササイズ」のような自主グループの立ち上げ支援にも取り組んでいます。

より多くの等々力地区住民の方からのご意見、ご相談をお待ちしております。

## 夏の行事

- ◆ 等々力溪谷七夕イベント 7月1日(日) 玉堤小学校ほか
- ◆ 盆踊り大会(遊び場開放) 7月14日(土) 等々力小学校
- ◆ 等々力三和会親子納涼防災大会 7月21日(土) 等々力8丁目公園
- ◆ さぎ草展示会 8月3日(金) 尾山台地区会館
- ◆ 尾山台商栄会盆踊り大会 7月28日(土)、29日(日) 芝信用金庫尾山台支店前広場
- ◆ ふるさと区民まつり 8月4日(土)、5日(日) 世田谷区民会館・区役所中庭・若林公園
- ◆ 等々力六丁目町会盆踊り大会 8月21日(火) 八幡中学校
- ◆ 玉堤町会納涼盆踊り大会 8月25日(土)、26日(日) 東京都立大学世田谷キャンパス
- ◆ 尾山台振興会サマーナイトフェスティバル 8月26日(日) 尾山台駅前
- ◆ アドベンチャーin多摩川 8月26日(日) 多摩川
- ◆ 玉川神社例大祭 9月15日(土)、16日(日) 玉川神社

### ご入学おめでとう

玉川小学校	144名
尾山台小学校	85名
九品仏小学校	41名
等々力小学校	117名
玉堤小学校	75名
八幡中学校	66名
尾山台中学校	82名
東深沢中学校	122名

にゅうがくおめでとうございます